

# 大阪版健康・栄養調査における調査手法について

平成27年7月15日  
大阪府健康づくり課

## 現状把握

食文化

知識

意識

食環境

情報を正しく理解しているか？

選択するとき何を優先するか？

行動

どのような行動をとっているか？

現状把握により仮説立てを行う

## 調査仮説

「高校生・大学生」「働き盛りの男性」「高齢者」年齢層により食習慣は異なっている 等

## 調査実施

府の現状をより把握するために・・・

仮説を整理し、調査手法を検討

### 国調査

- ◆ 身体状況調査  
(問診、血液検査等)
- ◆ 生活習慣調査  
(アンケート調査)
- ◆ 栄養摂取状況調査  
(1日記録調査)

### 府調査

#### ◆ 府独自アンケート

食習慣を中心に、身体活動、歯の健康状態等、生活習慣に関する知識や意識等を把握する。

#### ◆ 食品群摂取量等の調査

BDHQにより、個人ごとの栄養素や食品の摂取状況を定量的に把握する。

アンケートの質問とBDHQとを組み合わせるクロス集計・分析を行う。

#### ◆ 調査対象 (案)

- ・ 国民健康・栄養調査対象地区  
23地区 (23単位区) 約800名
- ・ 上乗せ地区  
27地区 (54単位区) 約1500名
- ・ 高校生  
府域4ブロック (各1校) 約400名

より効果的な取組の展開へ